

ここが知りたい！

6歳頃のお口の中

6歳頃になると乳歯の一番奥の歯の奥に第一大臼歯（永久歯）が生えてきます。これは6歳臼歯とも呼ばれる歯の王様です。

後から生えてくる永久歯の基準になるよ



妊娠期・乳幼児期・学齢期
シリーズ vol. 8



永久歯の中で一番大きいよ

永久歯が生え始めます！

フッ化物でむし歯予防

乳歯は20本ですが、永久歯は28本（親知らずを含めると32本）になります。個人差はありますが6歳頃に第一大臼歯（6歳臼歯）が生え始め、その後、前歯から生え変わり、第二大臼歯（12歳臼歯）が生えそろうと12歳～14歳頃に永久歯の歯並びが完成します。

6歳～14歳くらいはフッ化物の濃度が1000ppmのジェルや歯みがき剤等を1cm程度使ってみがきましょう。

1日2回以上使用すると効果的です。

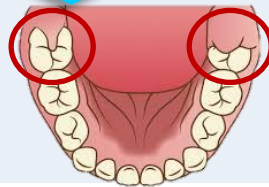


小学校の低学年までは仕上げ磨きが必要です！

第一大臼歯（6歳臼歯）は歯の王様

第一大臼歯は、他の永久歯とは違い、乳歯が生え変わるのではなく、新たに歯茎を破り生えてきます。そのため、生えてくる際に多少痛みが生じたり、歯の周りに汚れがたまりやすく歯肉炎を引き起こすこともあります。

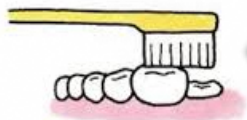
下の歯一番奥が6歳臼歯生える途中はまだ歯肉に覆われている



第一大臼歯は、体重の2倍もの重量を支える大事な歯です。全て生えるのに1年以上かかることもあります。生え始めは乳歯よりも背が低いので歯ブラシが届きにくく、また歯肉に覆われてみがきにくいことから最もむし歯になりやすいと言われてます。

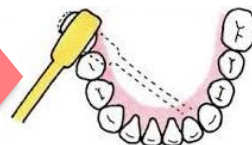
第一大臼歯（6歳臼歯）をむし歯から守ろう

シーラントでむし歯予防！



生えたての第一大臼歯（6歳臼歯）は、手前の乳歯よりも背が低いので普通にみがいても歯ブラシの毛先が届きません。

第一大臼歯（6歳臼歯）をみがくときは、肘を上げて、歯ブラシをななめ横から入れてみがきましょう。



王様のように偉そうにひじを上げてみがくと、上手にみがけるぞ。

あらかじめ、むし歯になりそうな奥歯の溝をプラスチック樹脂の一種で埋めてしまう処置です。溝を埋めることで食べかすや汚れが溝に入らずむし歯を予防することができます。

